

1991年
4月
5月

これは今から25年前を記憶や資料をたよりにひも解いてみようとする企画です

第33回中日東海ブロックオリエンテーリング大会のクラス分けについて 三河 OLC Naito さん

「新しいクラス分けの実験をします」

4月21日に愛知県で開催される第33回中日東海ブロック大会は、今までにない新しいクラス分けで行われます。大会の予告パンフレットでその趣旨を説明したのですが、まだ誤解されている方がおられるようですので、誌上をお借りしてもう少し説明させていただきたいと思えます。

「新しいクラス分けの概略」

新しいクラス分けは図のようになっていきます。表の上ほど難易度が高くなっており、同じ段にあるクラスはコースも同じです。従って全部で6コースであり。クラスは年齢無制限です。HE、DE、H1には厳しい出場資格があります。その他のクラスについては過去の実績により自動的にクラスが選べるような目安が設定してあります。

男子	女子	距離(目安)
HE		8km
H1	DE	7km
H2	D1	6km
H3	D2	5km
H4	D3	4km
初心者		4km

「新しいクラス分けのねらい」

このようなクラス分けをした狙いは、現行のクラス分けの問題点を解消することにあります。山岸さんらからもクラス分けの改善提案がだされていますが、このクラス分けも改善提案であり、そして試行、実験なのです。

数々の問題が新しいくらすわけによってどのように解消されるかを順にならべてみます。

「現行クラス分けの4大問題点とその解消」

①20歳以下の実力者が21Eに出場できない。したがって21E優勝者が総合優勝者であるという保証はないのに、そのように表彰している。

⇒新しいクラス分けには年齢制限がないので、実力があればだれでもEに出場できます。またそのクラスの優勝者が当然、総合優勝者であります。

②17-18歳の17Aは19A、35-39歳の35Aと21Aのように同年齢、道実力でありながら別クラスにエントリーしてしまうことがあり、勝負の面白さが半減している。また年齢別の最高位者をあいまいにしている。たとえばH19AにでたものとH17Aで優勝したものとではどうなのか。

⇒あたらしいクラス分けではクラスの上下関係があきらかであり、出場資格も厳密なので、同能力のものが別のクラスへエントリーすることはありえません。そして年齢別の最高位はもちろんこれもはっきり知ることができます。本大会では男女別、年齢別の順位表を成績表に織り込む予定です。

③クラス間のギャップが大きすぎて能力にあったクラスで競技できない。たとえば21-34歳の初心者である17Nを卒業したあと、最高位のクラスに次ぐ21Aにはいるまでの間雄21Bというたった一つのクラスで過ごすことになる。そしてH21Bで優勝してもH21Aに移ると規程時間にも入れないというおかしなことがおきてくる。

⇒本大会のクラス分けは500人規模の大会を想定して6コース(6段階)としたのですが、それでも初心者からHEクラスに至るまで4つのクラスを経るわけで、17N、21B、21A、Eという4段階のクラス分けよりはるかにギャップは小さくできます。もしこれが2000人規模の大会なら20段階程度のクラスがつくられることになり、ギャップがほとんどない滑らかなクラス移動が可能となります。

④年齢別にクラスを細分化しすぎることにより少人数クラスを生み、勝負の面白さを減じている。

⇒新しいクラス分けは年齢別を廃止することがポイントですが、それによって少人数クラスの問題は解決します。従来の大会においてもコース別に成績をまとめてみるとどれほど接戦になっているかお分かりになると思えます。

「新しいクラス分けの活用」

今までのべてきたような理由により新しいクラス分けが生まれたのですが、折角新しいクラス分けをするのなら、それを積極的に生かそうということで、今回「東海地区OL順位戦」という企画を立てました。

時の話題

4月1日
東京都庁が千代田区丸の内から新宿区に移転

4月1日
牛肉とオレンジの輸入(自由化)開始

4月6日
イラク、国連の停戦勧告を受諾

4月16日
ミハイル・ゴルバチョフソ連大統領来日

4月26日
海上自衛隊のペルシャ湾掃海派遣部隊が出発(自衛隊初の海外派遣)

5月14日
信楽高原鉄道で同社の普通列車とJR西日本の臨時快速列車が衝突事故、42人死亡

5月14日
毛沢東夫人・江青が自殺